

第 2 期「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

1 第 1 期総合戦略の概要

(1) 策定趣旨

国の総合戦略を踏まえ、県の総合計画に掲げた取組のうち、地方創生に資する取組を重点的に絞り込み、本県の実情に応じた施策等を定めた実践的な計画として策定

(2) 期間

平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間（国の総合戦略と整合）

(3) 構成

戦略本体			アクションプラン
3つの基本的な 施策の方向	4つの政策の 基本目標	施策展開	
「社会減の流れ」 を断ち切る！	産業振興による 雇用の創出	12の 施策の柱	42の 施策展開 【KPI】
	人材の定着・還流・ 移住の推進		
「少子化の流れ」 を変える！	結婚・出産・子育て 環境の整備		
「住みよい地域 社会」を創る！	持続可能で元気な 地域社会の形成		

2 国の第 1 期総合戦略の検証状況、第 2 期総合戦略策定に向けた基本方針

(1) 第 1 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する検証会中間整理（抜粋）

基本目標「1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」及び「4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」については、概ね目標達成に向けて施策が進展している。

基本目標「2. 地方への新しいひとの流れをつくる」及び「3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については、現時点では、政策効果が十分に発現するまでに至っていない。

(2) 「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019 (R1.6 閣議決定)」の概要

- 4つの基本目標は、従来の枠組を維持しつつ、必要な強化
 - ・「地方への新しいひとの流れをつくる」の取組強化（関係人口等）
 - ・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、子ども・子育て本部等と連携
 - 「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
 - 新たな視点に重点をおいて施策を推進
 - ・新しい時代の流れを力にする（Society5.0等）、人材を育て活かす等
- 地方においても、国の「総合戦略」を勘案し、切れ目ない取組を求む

3 第2期総合戦略の策定の考え方

「やまぐち維新プラン」をベースとしながら、第1期総合戦略の検証を反映するとともに、国の第2期総合戦略を勘案して策定

(1) 「やまぐち維新プラン」をベース

第1期総合戦略に掲げる「3つの基本的な施策の方向」及び「4つの政策の基本目標」の枠組みを基本として、プランに掲げる重点施策を再整理し、戦略の体系を構築する。

(2) 第1期総合戦略の検証の反映

「県外流出する若者・女性に焦点をあてる」や「本県への新しいひとの流れを強化する」など、第1期総合戦略の検証を第2期総合戦略の施策等に反映する。

(3) 国の第2期総合戦略を勘案

「人材を育て活かす」や「誰もが活躍する地域社会をつくる」の観点を追加するとともに、「Society5.0」等新しい時代の流れを力にするなど新たな視点の取組を盛り込む。

※総合戦略策定の重要な基礎となる「地方人口ビジョン」について、必要な時点修正（改訂）を行う。

4 策定スケジュール

9月上旬	第1期総合戦略の検証、第2期総合戦略の策定の考え方
11月頃	第2期総合戦略の素案
12月頃	パブリックコメント
(12月下旬	国が第2期総合戦略を策定)
2月頃	第2期総合戦略の最終案
3月下旬	第2期総合戦略の策定・公表